



計算技術検定を極める

資格検定受験の対象として、全国工業高等学校長協会が主催する「計算技術検定」があり、1級から4級までのレベルが設定されています。

本校では3級全員受験からスタートし、1級に合格した先輩もいます。

3級は、基本的な電卓操作が確実に行えれば合格できます。数年前までは式を変形して、数値を代入するまでのレベルでしたが、レベル改定があり、現行では「式を変形して記述できる」レベルが求められています。

3級は、本校において、在学する全生徒が取得することが望ましい検定として、位置付けられています。従って、多くの科で1年生の最初に受験する検定となっています。

先輩の中には、3級合格を機に1、2級に挑戦・合格し、岡山県知事から顕彰される「職業教育技術顕彰」推薦条件の一つとして取得し、他の高度な資格取得の結果と合わせて、顕彰された人もいます。

級別種目

- ・ 3級
 - ・ 四則関数
 - ・ 関数計算
 - ・ 実務計算 ▶ 式変形を含む
- ・ 2級
 - ・ 関数計算
 - ・ 方程式と不等式
 - ・ 応用計算 ▶ 三角関数の基礎を含む
- ・ 1級
 - ・ 方程式とその応用
 - ・ ベクトルと面積・体積
 - ・ 統計処理 ▶ 平均及び標準偏差、度数分布表、二項分布、正規分布などを含む

電卓の機能を最大限活用する。

本校では、全員が高機能な関数電卓を持っています。高次方程式や連立方程式を解く機能や、指数関数・対数関数を計算したり、ベクトルや統計処理もできます。取扱説明書を読みましょう。

